S-Stage キット　取扱説明書

製品番号	01-05-0259（カムシャフト付属） 01-05-0258（カムシャフトレス）

適応車種	アドレス V125　(CF46A-1000001 ～) (CF4EA-1000001 ～)
	アドレス V125S (CF4MA-1000001 ～)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

使用燃料についての注意

この製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前、燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについての注意

スパークプラグは必ず CR8HSA(NGK) または、U24FSR-U(DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

F.I. コントローラーについての注意

S-Stage キットのみで使用されますとエンジンが重大な故障を起こす可能性があります。必ず F.I. コントローラーをご使用下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具などの準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼される事をお薦め致します。
◎当製品を取り付けての一般公道の走行は出来ません。
◎当製品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■当品は競技用の為、一般公道の走行は出来ません。（運転者本人が罰せられる対象になります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）
■ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

番号	部　品　名	個数	リペア品番
1	ピストン	1	――――――――――
2	ピストンリングセット	1	00-01-1072
3	ピストンピン	1	00-01-1677（④クリップ付）
4	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0052（6 ケ入り）
5	シリンダー	1	00-00-1110
6	シリンダーヘッドガスケット	1	00-00-1135
7	シリンダーガスケット	1	00-00-1118
8	カムシャフト	1	01-08-0311
9	テンショナーガスケット	1	00-00-1330
10	ウェイトローラー（15g）	6	02-00-0004（3 ケ入り）

※8 カムシャフトは、01-05-0258 には付属しません。
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

ボルトについて

●普通、ボルトとナットは反時計方向へ回すと緩み、時計方向へ回すと締まります。
●ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まず指で締まるところまで締めましょう。1 ～ 2 回転でとまる場合は、ネジが斜めに入っている場合がありますので注意して下さい。
●ネジを緩めると言う事は、締まっている状態から反時計方向へ 3 ～ 4 回転回す事を言い、取り外すという事は反時計方向へネジが取れるまで回す事を言います。
●ネジを締めると言う事は、ネジが緩まないようにする事を言います。その目安をボルトごとに折れない・緩まない数値で表したのが締め付けトルクです。トルクレンチを用意する事の出来ない人は折れない･緩まない力で締められるのであれば試してみて下さい。但し、当社では責任は負いません。トルクレンチが無くてもどれぐらいの力で締めると折れるのか・緩むのかは自分自身の経験と勘でしか補えません。
●工具を正しく使用しない場合、ボルト・ネジ等のかかり部分が破損する場合があります。

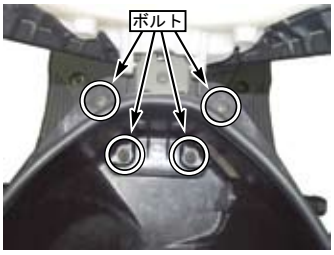
■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●取り外し

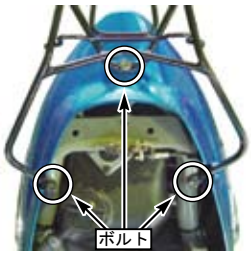
★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していく様にする。
★取り外したボルトやナットは無くさない様に、どの場所に使用するか分かる様に保管する。

○ボディーカバーの取り外し

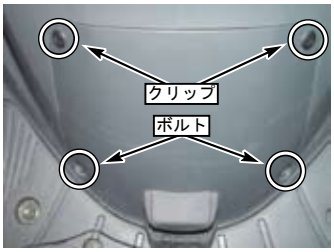
◇メインキーでシートを開け、フィラーキャップ、ボルト 7 本を取り外し、トランクボックスを取り外す。
※ DC ソケット付の車種はカプラを外す。



◇フィラーキャップを確実に取り付ける。
◇ボルト 6 本を外しリアキャリアを取り外す。



◇ボルト 2 本、クリップ 2 本を外しメンテナンスリッド No. 2 を取り外す。



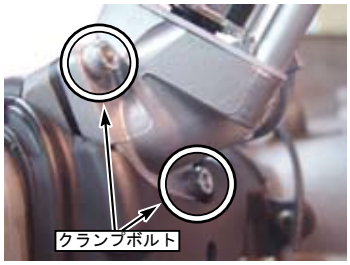
◇ボルト 4 本、クリップ 2 本を外しリアコンビネーションランプとフレームカバー / フレームサイドロアカバーを外す。

○インテークパイプ & スロットルボディーの取り外し

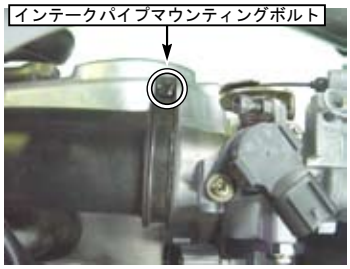
◇クリップを外し、インテークパイプホールカバーを取り外す。

◇スロットルプーリカバーを取り外す。

◇インテークパイプのクランプボルトを緩める。



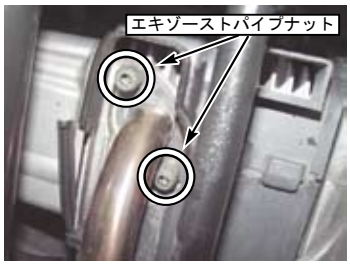
◇インテークパイプマウンティングボルトを外し、インテークパイプ & スロットルボディーを共に外す。



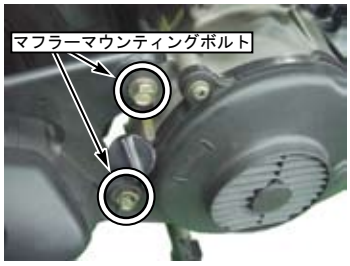
◇外したインテークパイプ & スロットルボディーはフレームに結んで固定しておく。

○エキゾーストパイプの取り外し

◇エキゾーストパイプナットを 2 個外す。



◇マフラーマウンティングボルトを 2 本外す。

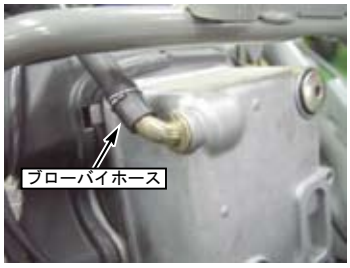


◇マフラー及びエキゾーストガスケットを取り外す。

○ファンカウリング、シリンダーカウリングの取り外し

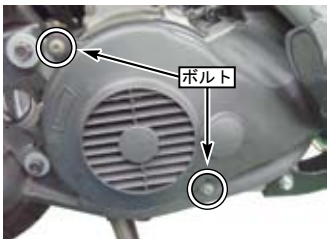
◇スパークプラグキャップを外す。

◇エンジン温度センサーカプラを外す。
◇ブローバイホースを外す。



◇テンショナーアジャスターキャップを外す。

◇ファンカウリング側のボルト 4 本、シリンダーカウリング側のボルト 1 本を外す。
※ファンカウリング、シリンダーカウリングはまだ取り外せません。

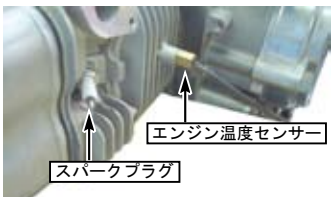


◇リアショックアブソーバーのアッパーマウントボルトを外し、車体後部を持ち上げる。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

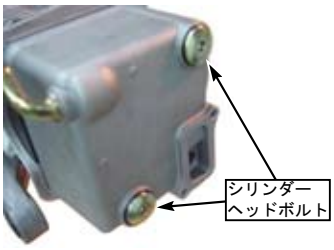
◇車体後部を持ち上げて出来た隙間からファンカウリングを下側に、シリンダーカウリングを上側から引き抜く。
（エンジン温度センサーカプラに注意する事）

◇リアショックアブソーバーのアッパーマウントボルトを仮締めしておく。
◇エンジン温度センサー、スパークプラグを取り外す。



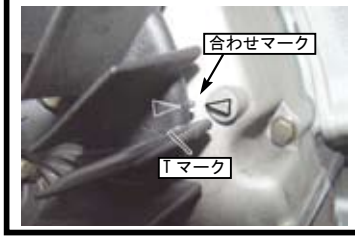
○シリンダ―ヘッドカバーの取り外し

◇シリンダーヘッドボルト 2 本を外し、シリンダーヘッドカバーを取り外す。

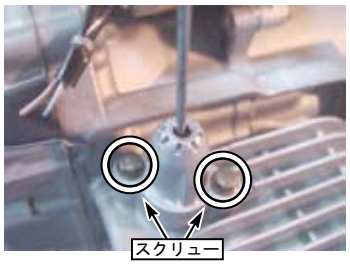


○カムスプロケットの取り外し

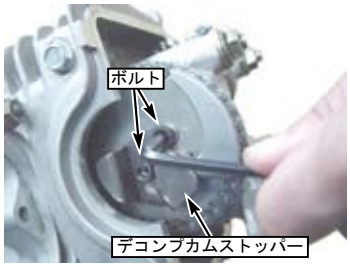
◇クーリングファンナットを回しクーリングファン外周部の合わせマーク（△印）とマグネットカバーのＴマーク（△印）を合わせる。又、カムチェーンスプロケットのケガキ線とシリンダーヘッド上面を合わせてピストンを圧縮上死点にする。
★この時、カム山が燃焼室の方を向いていなければクーリングファンを更に一周回し圧縮上死点にする。

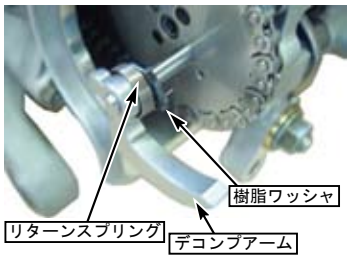


◇カムチェーンテンショナーアジャスターのスクリューを細いマイナスドライバーで右回転に一杯まで回し、プッシュロッドを縮ませた状態でロックさせ、カムチェーンテンショナーアジャスター、ガスケットを取り外す。



◇クーリングファンナットをレンチ等で回り止めし､ボルト 2 本を外す。
◇カムシャフトのデコンプカムストッパー、デコンプアーム、リターンスプリング、及び樹脂ワッシャを取り外す。

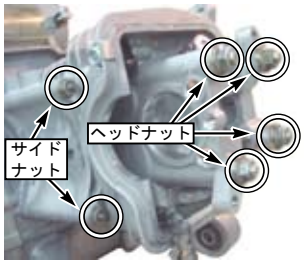




◇カムシャフトスプロケットを取り外す。
★カムチェーンをクランクケース内に落とし込まない様に注意して下さい。

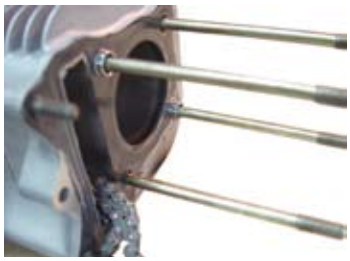
○シリンダーヘッドの取り外し

◇先にシリンダーヘッドサイドナット 2 個を外し、シリンダーヘッドナット 4 個を対角に数回に分けて緩め、外す。



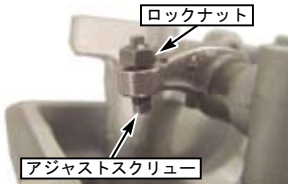
※写真の形のヘッド、シリンダーの場合はサイドナットを計 3 個外す。

◇ワッシャ 4 枚を外し、シリンダーヘッドを取り外す。
★シリンダーヘッドを取り外す際は両サイドを持って垂直に上げて下さい。
また外れ難い場合はプラスチックハンマーで軽くショックを与え、シリンダーヘッドを浮かせます。
◇ノックピン 2 個とシリンダーヘッドガスケットを取り外す。
★ノックピン 2 個は再利用します。

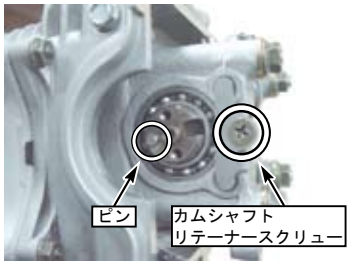


○カムシャフトの取り外し

◇ロッカーアームのロックナットを緩め、アジャストスクリューを緩める。



◇カムシャフトのカムスプロケット取り付け面にあるピンを抜く。
※このピンは再使用するので無くさない事。



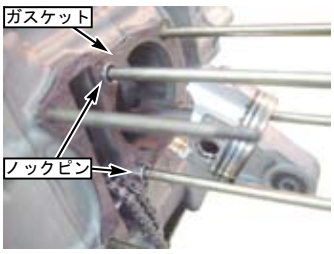
◇カムシャフトリテーナースクリューを外し、カムシャフトリテーナーを外す。
◇ロッカーアームシャフト 2 本を引き抜き、ロッカーアームを外す。
※ロッカーアームシャフトが外れにくい場合は、ネジ径 8㎜、ピッチ 1.25 のボルトをねじ込んで引き抜く。

◇カムシャフトを取り外す。

○シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを上に引き抜き、シリンダーを外す。
★シリンダーを取り外す際は、両サイドを持って垂直に上げて下さい。
また外れ難い場合はプラスチックハンマーで軽くショックを与え、シリンダーヘッドを浮かせます。

◇ノックピン 2 個とガスケットを取り外します。
★ノックピン 2 個は再利用します。



◇シリンダーが外れた後はクランクケース内にゴミが入らない様にきれいなウエス等をシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。

◇ガスケットがクランクケースに残った場合はスクレーパーやカッターナイフできれいに取り除いておく事。
★クランクケースにキズを付けない様に注意して下さい。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。

★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじる様にすると外れやすい。

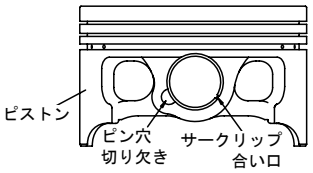
◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押し出し、ピストンを取り外す。

● S-Stage キット取り付け

○ピストンの取り付け

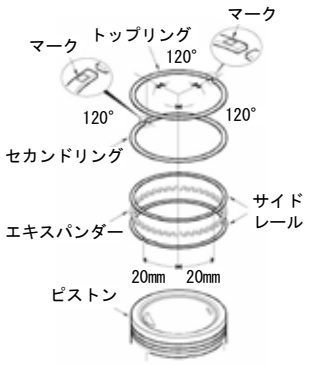
◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける事。

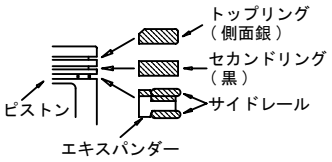


※取り付け中にピストンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付ける事。

◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。
エキスパンダー、サイドレール、セカンドリング、トップリングの順に取り付ける。



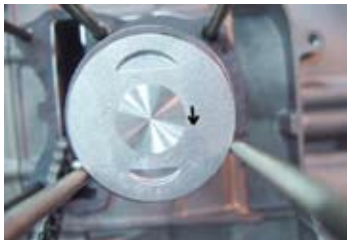
トップリングの上面及びセカンドリングの上面には印字があります。



断面に注意

◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にきれいなエンジンオイルを塗布する。

◇ピストン頂点の→マークが下（排気側）を向く様にコンロッドに取り付ける。



◇付属のピストンピンサークリップをもう片側のピン穴に取り付ける。

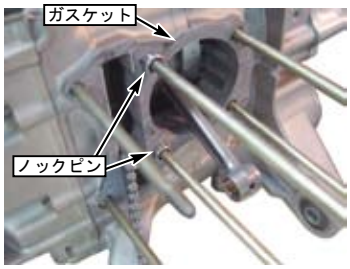
○シリンダーの取り付け

◇クランクケースに詰めていたウエスを外す。

◇カムチェーンホールを覗き、カムチェーンがクランクシャフトのカムスプロケットから外れていないか確認する。

◇クランクケースとシリンダーの合わせ面をシンナー等で脱脂し、きれいにする。

◇ノックピン 2 個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付ける。



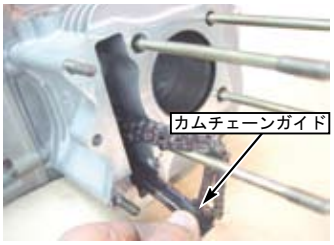
◇シリンダーの内側にきれいなエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。

◇ピストン全周面とピストンリングにきれいなエンジンオイルを塗布する。

◇ピストンリングを指で少しずつピストンの溝にはめながらシリンダーにピストンを入れる。

◇ピストンがシリンダーにはまったらカムチェーンをシリンダーのカムチェーンホールに通す。

◇シリンダーをクランクケースにはめ込みカムチェーンガイドを組み付ける。



○カムシャフトの取り付け

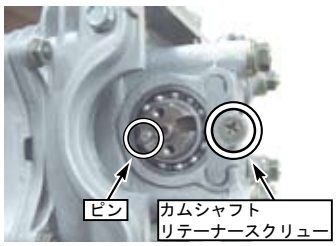
◇付属のカムシャフトのカム山部にきれいなエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付ける。

◇ノーマルカムシャフトに取り付けられていたピンを取り付ける。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

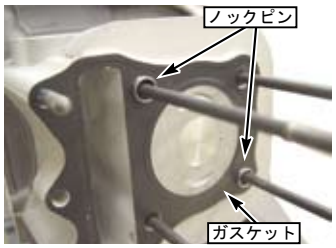
◇ロッカーアームシャフトに
きれいなエンジンオイルを塗布し
ロッカーアームを取り付ける。
◇ロッカーアームシャフトの
ネジ部をカムチェーン側に向く
様に取り付ける。
◇カムシャフトリテーナを取り
付けカムシャフトリテーナー
スクリューを締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
カムシャフトリテーナースクリュー
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



○シリンダーヘッドの取り付け

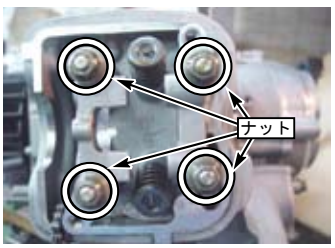
◇シリンダーとシリンダーヘッドの
合わせ面をシンナー等で脱脂し、
きれいにする。
◇付属のシリンダーヘッドガスケット
とノックピン2個を取り付ける。



◇カムチェーンをシリンダーヘッドの
カムチェーンホールに通しながら
シリンダーヘッドを取り付ける。

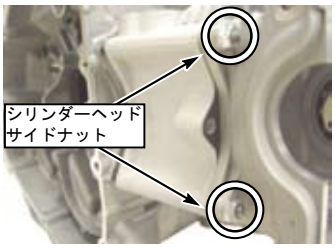
◇ワッシャを4枚取り付け、
きれいなエンジンオイルを塗布
したシリンダーヘッドナット
4個を対角線上になるように数回に
分けて締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドナット
トルク：25N・m（2.5kgf・m）



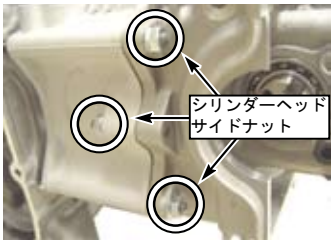
◇シリンダーヘッドサイドナット
2個にきれいなエンジンオイルを
塗布し規定トルクで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドサイドナット
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



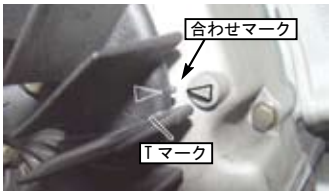
※写真の形のヘッドの場合は3個の
シリンダーヘッドサイドナットを
規定トルクで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドサイドナット
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



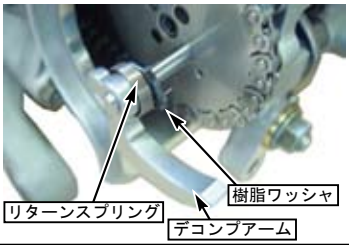
○カムシャフトスプロケットの取り付け

◇カムチェーンを手で保持しながら
クーリングファンを時計回りに
回転させ、クーリングファンの
△印とマグネトローターカバーの
△印を合わせる。



◇カムシャフトのカム山を燃焼室側に
向ける。
◇カムシャフトスプロケットのケガキ
線をシリンダーヘッドカバーの
合わせ面に平行にし、カムシャフト
スプロケットの各穴位置が写真と
同じになる様にカムシャフト
スプロケットにカムチェーンを取り
付ける。カムシャフトスプロケットを
カムシャフトにはめ込む。

◇デコンプアームにリターンスプリング
及び樹脂ワッシャを組み付ける。



◇デコンプアームをカムシャフト
スプロケットに組み付ける。
※リターンスプリングのフック部を
カムシャフトスプロケットの穴に
入れて組み付ける事。

◇デコンプアームを時計回りに図の
位置まで回転させる。
※リターンスプリングのフック部が
写真の位置にあるか確認する事。

◇クーリングファンナットをレンチ
等で回り止めする。
◇デコンプアームストッパの穴を
カムシャフトスプロケットの穴と
カムシャフトのネジ穴に合わせ、
ボルト2本を締め付ける。
※ボルト2本はきれいに洗浄してから
締め付ける事。またネジロック剤の
使用を推奨します。

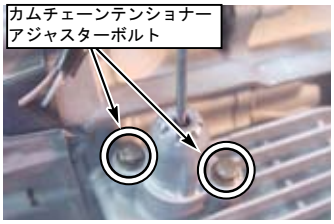
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

○カムチェーンテンショナーアジャスターの取り付け

◇細いマイナスドライバーでカム
チェーンテンショナーアジャスター
のスクリューを時計方向に回転させて
プッシュロッドを一杯まで縮めて
ロックさせる。

◇キット付属のガスケット及び
カムチェーンテンショナー
アジャスターをシリンダーに取り
付け、カムチェーンテンショナー
アジャスターボルト2本を規定
トルクで締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
カムチェーンテンショナー
アジャスターボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）



◇細いマイナスドライバーでカム
チェーンテンショナー
アジャスターのスクリューを
反時計方向に回転させて
プッシュロッドを戻す。

○バルブクリアランスの調整

◇クーリングファンを時計回りに
回転させクーリングファンの
△印とマグネトローターカバーの
△印を合わせる。
★この時、カム山が燃焼室の方を
向いていなければクーリング
ファンを更に一周回し圧縮
上死点にする。
※必ず圧縮上死点の位置でバルブ
クリアランスの調整をして下さい。
◇アジャストスクリューとバルブ
ステムの間に IN 0.05～0.10㎜、
EX 0.10～0.15㎜のシックネス
ゲージを差し込み、引き抜く時に
少し抵抗があるくらいの位置で
アジャストスクリューを固定した
ままロックナットを締め付ける。
※アジャストスクリューの調整の
際は、スズキ純正の特殊工具、
タペットアジャスタドライバー
(09917-10410) の使用を推奨します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

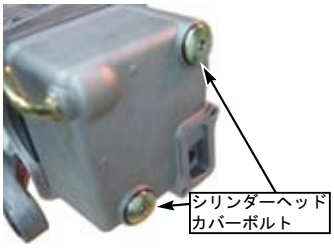
◇ファンを時計方向に2回転させ
バルブクリアランスを再確認する。
クリアランスが変化している
場合は、クリアランスが規定値に
なるまで繰り返す。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○シリンダーヘッドカバーの取り付け

◇シリンダーヘッドカバーにシールガスケットを取り付ける。
◇シリンダーヘッドカバーボルトを締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドカバーボルト
トルク：14N・m（1.4kgf・m）



○スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。
プラグレンチを用いて締める。

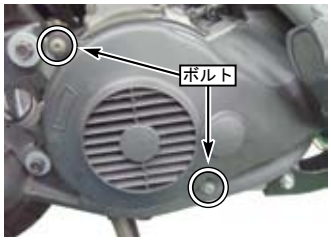
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
スパークプラグ
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

○シュラウドの取り付け

◇エンジン温度センサーを取り付ける。

◇リアショックアブソーバーのアッパーマウントボルトを外し、車体後部を持ち上げる。

◇車体後部を持ち上げて出来た隙間からシリンダーカウリング、ファンカウリングを入れ、シリンダーカウルをボルト1本、ファンカウリングをボルト4本で取り付ける。
※シリンダーのフィンにモールを確実にはめ込む事。



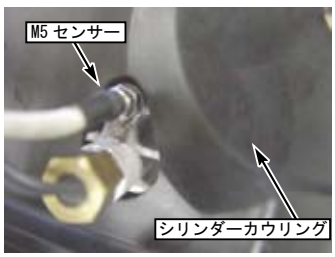
◇リアショックのアッパーマウントボルトを締める。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
アッパーマウントボルト
トルク：29N・m（2.9kgf・m）

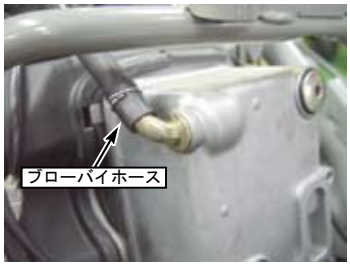
◇カムチェーンテンショナーアジャスターのキャップを取り付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
キャップ
トルク：9N・m（0.9kgf・m）

※弊社製M5センサー（07-04-0552）を使用される方は、シュラウドのエンジン温度センサーが通る穴を拡大して下さい。



◇シリンダーヘッドカバーにブローバイホースを繋ぐ。

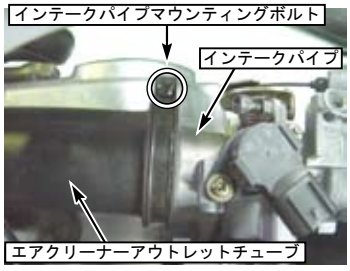


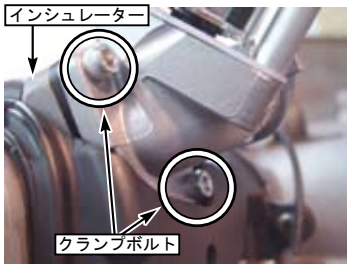
◇スパークプラグキャップを取り付ける。

○インテークパイプ＆スロットルボディーの取り付け

◇インテークパイプをエアクリーナーアウトレットチューブに差し込む。
◇インテークパイプとインシュレーター、インシュレーターとシリンダーヘッドの間にOリングをセットし、インテークパイプマウンティングボルトを締め付ける。
◇エアクリーナーアウトレットチューブのクランプボルトを締め付ける。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
クランプボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

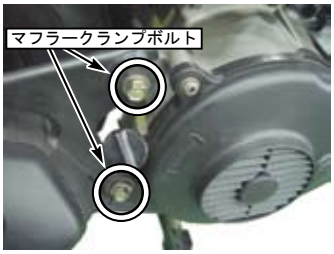




◇インテークパイプホールカバーをクリップで取り付ける

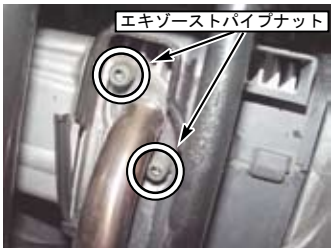
○エキゾーストパイプの取り付け

◇エキゾーストパイプガスケットを取り付ける。
◇シリンダーヘッドのスタッドボルトにエキゾーストパイプのフランジを差し込み、位置を合わせる。
◇エキゾーストパイプのフランジ側をエキゾーストパイプナット2個、マフラーステー部をマフラークランプボルト2個で仮止めする。



◇先にエキゾーストパイプナット2個を規定トルクで締め、次にマフラークランプボルト2個を規定トルクで締める。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
エキゾーストパイプナット
トルク：23N・m（2.3kgf・m）
マフラークランプボルト
トルク：23N・m（2.3kgf・m）

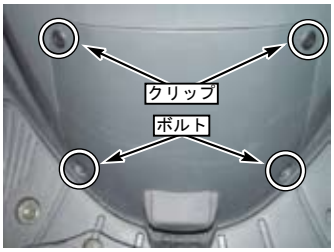


○ボディーカバーの取り付け

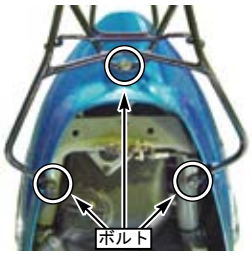
◇フレームカバー/フレームサイドロアカバーとリアコンビネーションランプをボルト4本、クリップ2本で取り付ける。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

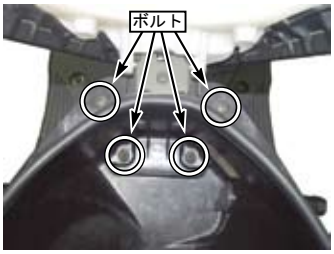
◇メンテナンスリッドNo.2をボルトに2本、クリップ2本で取り付ける。

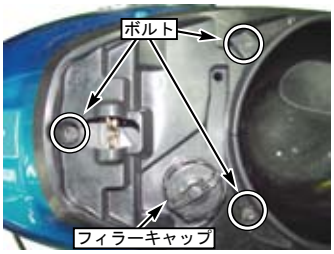


◇リアキャリアをボルト3本で取り付ける。



◇フィラーキャップを取り外しトランクボックスをボルト7本で取り付ける。DCソケット付の車種はDCソケットにカプラを取り付ける。



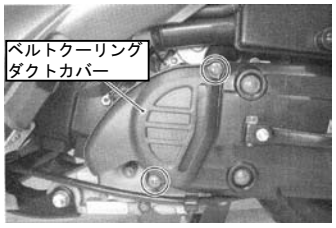


◇フィラーキャップを確実に取り付ける。

～ウエイトローラーの交換～

※ハイギアキット（02-04-6012）を取り付けられる方はハイギアキットの説明書も参照し、同時に作業を行なう事。

◇タッピングビスを取り外し、ベルトクーリングダクトカバーを取り外す。

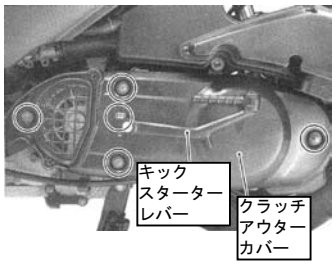


◇キックスターターレバーを取り外す。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
キックスターターレバー
トルク：13N・m（1.3kgf・m）

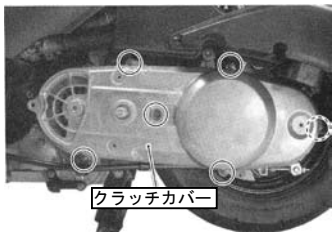
◇クラッチアウターボルトを取り外し、クラッチアウターカバーを取り外す。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
クラッチアウターボルト
トルク：8N・m（0.8kgf・m）

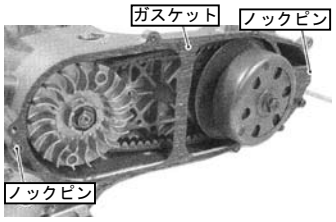


◇クラッチカバーボルトを取り外し、クラッチカバーを取り外す。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
クラッチカバーボルト
トルク：10N・m（1.0kgf・m）

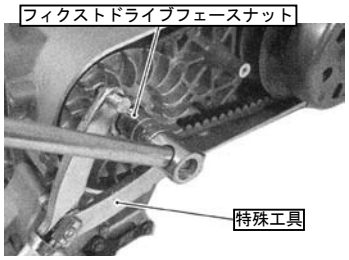


◇ガスケットとノックピンを取り外す。

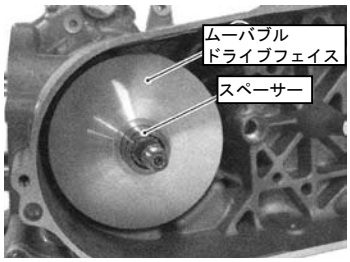


◇特殊工具を使用してフィクストドライブフェースナットを取り外す。
＜特殊工具＞
ユニバーサルホルダー：00-01-1002

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フィクストドライブフェースナット
トルク：50N・m（5.0kgf・m）



◇スペーサーとムーバブルドライブフェイスを外し、ウェイトローラーをキット内のウェイトローラー15g 6個と取り替える。
※ムーバブルドライブフェイスとスペーサーには油脂類が付着しない様に注意する事。
又、付着した場合は必ず脱脂する事。



◇以上の取り外し作業の逆手順にて、取り付ける事。
※各項目に記載されている規定トルクを守り確実に作業を行う事。

◇F.I.コントローラーの取り付け要領に従いF.I.コントローラーを取り付ける。
※各項目に記載されている注意事項を守り確実に作業を行う事。

●走行前の注意

○使用燃料について

◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替える。

○F.I.コントローラーについて

◇必ずF.I.コントローラーを取り付けてからエンジンを始動して下さい。
F.I.コントローラーを取り付けずに使用されますと空燃比が非常に薄くなりエンジンが重大な故障を起こす恐れがあります。

○各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認する。
◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。
◇風通しが良く、安全な場所で充分注意してエンジンを始動し、暖機運転させる。
◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイル漏れが無いか点検する。
◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検する。
◇当製品を組み込む事によりパワーアップされたエンジンは、各部の消耗が激しくなりますので必ず定期的にメンテナンスを行なって下さい。
◇ウエイトローラーは消耗品です。定期的に点検し、磨耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。